

# STILL ALIVE

## 国際芸術祭

### あいち2022

2022.7.30—10.10

International  
festival of  
contemporary art,  
performing arts  
and learning  
in Aichi

今を生き抜くアートのちから

# 国際芸術祭 あいち2022 STILL ALIVE

2022年7月30日|土|—10月10日|月・祝|[73日間]

芸術監督 | 片岡真実(森美術館館長、国際美術館会議(CIMAM)会長)

主な会場 | 愛知芸術文化センター、一宮市、常滑市、有松地区(名古屋市) 主催 | 国際芸術祭「あいち」組織委員会

## コンセプト (要約)

未曾有のパンデミックによって現代社会のさまざまな構造が浮き彫りになり、環境、政治、経済、文化といったあらゆる領域から新たな提言が求められています。現代美術やパフォーマンス・アーツといった芸術は、その歴史を振り返っても、常に時代を反映し、真実を追究し、不確かさのなかから未来のための新しい価値観を提示してきました。世界がさらに複雑化した今日では、芸術分野においても、多様な文化に対する理解や敬意を求める多様性(ダイバーシティ)や包摂性(インクルージョン)がますます重視され、同時に持続可能な世界の在り方が模索されています。

国際芸術祭「あいち2022」のテーマ「STILL ALIVE」は、愛知県出身のコンセプチュアル・アーティスト河原温が、1970年代以降、電報で自身の生存を発信し続けた《I Am Still Alive》シリーズに着想を得ています。「あいち2022」は、この「STILL ALIVE」を多角的に解釈し、過去、現在、未来という時間軸を往来しながら、愛知県の誇る歴史、地場産業、伝統文化の再発見、生きることの根源的な意味などを考えます。また、現代美術の源流を再訪すると同時に、類型化されてきた領域の狭間にも注目します。とりわけ世界の現代美術の底流をなすコンセプチュアル・アート、文字を使った美術表現やポエトリー(詩)、現代美術とパフォーマンス・アーツを横断する表現などに光を当てます。さらに、多様なラーニング・プログラムを通して、国際芸術祭「あいち2022」を不確かさや未知の世界、多様な価値観、圧倒的な美しさで出会う場と考えます。国際芸術祭「あいち2022」が、人生のどの一瞬にあっても、明日を生きるためのポジティブなエネルギーに繋がる、心躍る出会いや体験の場になることを目指します。(全文は公式Webサイトに掲載)

国際芸術祭「あいち2022」芸術監督 片岡真実

## 参加アーティスト

2021年8月23日時点(姓のアルファベット順) ※アーティスト(グループ)名[出身地/活動拠点]

ホダー・アフシャール [イラン/オーストラリア]、リリアナ・アングロ・コルテス [コロンビア]

ヤコバス・カポーン [オーストラリア]、ケイト・クーパー [英国/英国・オランダ]

メアリー・ダパラニー [オーストラリア]、遠藤 薫 [日本]、潘逸舟(ハン・イシュ) [中国/日本]

河原 温 [日本/米国]、バイロン・キム [米国]、アンドレ・コマツ [ブラジル]

小杉 大介 [日本/ノルウェー]、ミシエック・マサンヴ [ジンバブエ]、三輪 美津子 [日本]

モハンマド・サーミ [イラク/英国]、百瀬 文 [日本]、奥村 雄樹 [日本/ベルギー・オランダ]

カズ・オオシロ [日本/米国]、プリンツ・ゴラーム [ドイツ/レバノン/ドイツ]

眞田 岳彦 [日本]、笹本 晃 [日本/米国]、塩田 千春 [日本/ドイツ]、横野 明日香 [日本]

参加アーティストの出身地、活動拠点は、作品制作の背景にある社会的、文化的な文脈の参考として表記しています。

「あいち2022」は、国内最大規模の国際芸術祭の一つであり、国内外から多数のアーティストが参加します。愛知芸術文化センターのほか、一宮市、常滑市、有松地区(名古屋市)のまちなかを会場として広域に展開します。現代美術、パフォーマンス・アーツ、ラーニング・プログラムなど、ジャンルを横断し、最先端の芸術を「あいち」から発信します。

「あいち2022」開幕前のプログラム & 関連イベント

## ラーニング・プログラム

一般来場者、学校関係者、ボランティアといった様々な来場者・参加者に向けて、訪れた人たちがコミュニティの一員として参加する喜びを感じられるようなプログラムを「あいち2022」開幕前から順次、実施していきます。詳細はWebサイトをご確認ください。



ラーニング・プログラム詳細:

<https://aichitriennale.jp/learning/>

- 参加プログラム: 一般を対象とした公開プログラム
- スクール・プログラム: 学校関係者(児童生徒・教員等)を対象としたプログラム
- ボランティア・プログラム: 対話型鑑賞のファシリテーターや会場案内などのボランティア育成のためのプログラム

## ARTS CHALLENGE 2022

若手アーティストから作品プランの募集を行い、活動発表の場を提供することにより、愛知から世界を舞台に活躍するアーティストの輩出を目指す公募展を開催します。

入選作品展示期間: 2022年1月22日(土)~2月6日(日)

会場: 愛知芸術文化センター

(アートスペースX及びパブリック・スペース)

助成: 一般財団法人地域創造



特設サイト:

<https://artschallenge.jp/>

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局

〒461-8525 愛知県名古屋市東区東桜1-13-2

愛知芸術文化センター内

TEL: 052-971-3111 / FAX: 052-971-6115

Twitter | @Aichi2022

Facebook | Aichi2022 Instagram | aichi2022

#あいち2022 #Aichi2022 #stillalive

YouTube | [https://www.youtube.com/channel/UCkBaVn7\\_cnuUcHrnq6E2A](https://www.youtube.com/channel/UCkBaVn7_cnuUcHrnq6E2A)



公式サイト:

<https://aichitriennale.jp/>



**STILL ALIVE**  
国際芸術祭  
あいち2022